

指導例：文章構成や論理の展開を評価しよう
『新しい博物学の時代』（第3学年 第1時）

指導のポイント

1 単元の課題を把握する。

- 事前に配布された既習の説明文の、文章構成や論理の展開について感じたことや気付いたことを書く。
- 補助資料として天文学に関わる写真や映像を見る。
- 文章構成や論理の展開についての感想を交流し、単元の課題を考える。



【文章構成や論理の展開についての感想を交流】

- T：これから学習していく説明的文章は2年生のときに学習した説明的文章と比べて、文章構成上の違いが感じられましたか？
- S：今回の説明的文章は初めに結論があるような気がします。
- S：最後にも筆者の主張が述べられていました。
- T：双括型の文章と言えそうですね。なぜ、いろいろな文章構成、論の進め方があるのでしょうか？
- S：論の進め方は筆者が選べるということだね。
- S：文章構成を選ぶということは、そこに筆者の意図があるということではないかな？
- S：筆者はきっと自分の考えを明確に伝えようとしているし、そのため工夫の一つが文章構成なのだと思う。
- T：では今回の学習では筆者の論の組み立て方の工夫や、そこに込められた意図を探っていきましょう。

単元の課題 筆者の文章構成や論理の展開について評価し文章にまとめよう。

2 本時のめあてをつかむ。

めあて 筆者の文章構成や論理の展開を評価し文章にまとめるために必要なことを話し合い、学習の見通しをもとう。

3 学習の見通しをもつ。

- 自分たちが文章を書くときに使った文章構成や、説明文における主張と根拠の関係などの既習事項を確認し、グループで課題解決までの見通しを考える。
- 考えたことを学級全体で共有し、単元全体の学習のイメージをもつ。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

- 「新しい博物学の時代」でどのようなことを学習していくのか、また、どのようなことを学びたいかをノートにまとめる。
- ☆論理の組み立て方についてはあまり意識したことがなかった。今回の学習でしっかり考えてみたい。
- ☆表現方法について自分の考えを書いた経験を生かして、今回は構成や論理の展開について自分の考えを書いてみようと思う。

学習のつながりを意識させるための既習事項の想起

- 第2学年で学習した教材文を事前に配付して読ませておくことで、学習のつながりを意識させるとともに、比較対象としても活用する。

教材文に対して興味をもたせる工夫

- なじみの薄い天文学に関わる内容や古典資料に対して興味をもたせるために、写真や映像を見せて関心を高める。

学習内容の見通しをもたせる工夫

- 生徒とのやり取りの中で学習課題を設定することで、課題を明確にするとともに、課題解決に向けての意識を高める。
- 本単元のゴールを示すことで、そこに向けて各単位時間の学習が繋がっていくことを意識させる。

主体的に取り組めるための工夫

- 単元の学習計画をグループで考えさせ、見通しをもたせることで、主体的に取り組めるようにする。

振り返りの工夫

- これからの学習に目を向けさせることで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

指導のポイント

指導例：文章構成や論理の展開を評価しよう
『新しい博物学の時代』（第3学年 第2時）

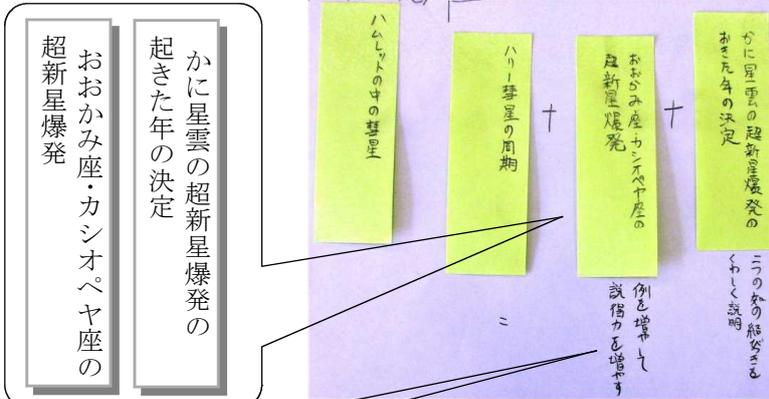
1 本時のめあてをつかむ。

- 前時に学習した本文の内容を確認して、本時の見通しがもてるようにする。
- 説明の内容を捉えるだけでなく、筆者の文章構成の意図を捉えることが本時のめあてであることを伝える。

めあて それぞれの段落の役割や、筆者の意図を捉え、考えたことを話し合おう。

2 課題追究のために個別に追究する。

- 序論、本論、結論の役割について確認する。
- 本論を四つの意味段落に分けて小見出しを付け、付箋紙に書き込む。
- 付箋紙を並び替え、本論の文章構成について考える。



【文章構成を考えるために付箋紙を利用】

段落を配置した筆者の意図を記入

3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな気付きをもつ。

- 個で考えたことをグループで交流し、本論の四つのまとまりの役割と順序の意図について話し合う。



【ホワイトボードを活用した話し合い】

- グループごとに考えを整理し、ホワイトボードにまとめる。
- 交流した結果を共通点、捉え方が分かれた点、疑問点などに分けて発表し、全体で共有する。
- 共有したことを基に意味段落の役割と筆者の意図についてワークシートにまとめる。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

- 意味段落の役割や、筆者の意図などについて考えたことを中心に、本時の学習を通して学んだことや考えたことを記述する。
- ☆筆者が意図をもって文章を構成していることが分かった。
- ☆一つ一つの段落が、重要な役割を担っていることが分かった。

学習内容を明確にするためのめあての設定

- 前時の振り返りを読み直し、ゴールに向かう手順としての学習活動であることを確認した上で、本時の学習に見通しをもたせる。

文章構成を視覚的に捉えられるようにするための工夫

- 段落相互の関係を見られるよう、付箋紙に小見出しを書き込ませ、並べ替えながら考えたことを記入できるようにする。

効果的に話し合いを進めるための工夫

- 話し合い用のワークシートをクリアファイルにはさんでホワイトボードとして各班に配布し、書き込みながら話し合いを進めさせることで、思考が視覚化できるようにする。

振り返りの工夫

- 学んだことや考えたことを自分の言葉で書き表すことで、学びを自覚できるようにする。

指導のポイント

指導例：文章構成や論理の展開を評価しよう
『新しい博物学の時代』（第3学年 第5時）

1 本時のめあてをつかむ。

- 文章構成や論理の展開について評価した文章を書き、交流したことを振り返る。
- 単元全体を振り返ることが本時のめあてであることを知る。

めあて 単元を振り返って、文章構成の考え方について、学んだことや今後に生かすことをまとめよう。

2 単元で学んだことを確認する。

- 1/5時に書いた文章と、4/5時での文章構成を評価した文章とを読み比べる。
- 読み比べて相違点を書き出し、意味段落の役割や筆者の意図に目を向けて文章を読むことができたことを実感する。
- 文章構成や論理の展開についての見方が深まったことを確認する。

文章構成は学習したが、あまり深く考えたことはない。

この文章は双括型の文章で、序論にあたる部分で筆者の考えが述べられ、筆者の伝えたいことがとても分かりやすい。そこで、本論では、「理科系と文科系の壁を取り払う」例が必要となる。本論では、「新しい博物学」の具体的な姿として、三つの事例が紹介されている。一つ目の例として、「理科系の「かに星雲」の謎を解くために、文科系の知である「明月記」が助けた過程が丁寧に説明されている。その後二つの例を加え、説得力を高める論の進め方は大変よい。

【学習前の感想】

【学習後の評価文】

3 学んだことを一般化し理解する。

- 本単元で学んだことがどのように生かせるか、意見を交流させ共有する。
- 文章を読む際は、それぞれの段落の關係に着目したり、筆者の文章構成の意図を考えたりすることで、内容をより明確に捉えられるということに気付く。



【グループで意見交流】

学んだことが今後どのような場面で生かせるか考えよう。
個人で考えたこと
・自分の考えの内容によって、具体例を前に置くと、後に置くかを選択していききたい。
・意見を分かりやすく簡潔にし、例を用いる場合は適切かどうかを見極めたい。

グループでの交流後
・スピーチをするときにも、双括型の文章構成を用いるとよい。
・自分の意見を伝えるときに、それを支える根拠をしっかりと述べる必要がある。
・例を扱うときは、詳しく説明する、説得力を増すなどの目的に合わせて、例の数や、どの程度詳しく述べるかを考える。

【生徒のワークシートより】

4 単元全体の振り返りをする。

- 一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを自分の言葉でノートにまとめる。
- ☆文章構成には筆者の意図が表れていることが分かった。
- ☆論理の展開を考えることによって、筆者の主張の根拠が妥当かどうかなどについても考えられるようにしていきたい。

学びの自覚

- 学習の初めに書いた、既習の説明的文章の構成に対する感想と、本単元の学習の中で書いた評価文とを読み比べさせることで、文章構成や論の進め方に対する見方の変容を感じられるようにする。

単元を通した学びの共有

- 班の中で、自分たちが書いた二つの文章を読み合う活動を設定することで、友達の考えの変容や多様な考えに気付けるようにする。

学んだことを一般化するための工夫

- 単元の学習で学んだことや、学んだことが今後どのような場面で生かせるかを考えさせることで、次の単元の学習で、文章構成を意識して読んだり、文章を批判的に読みながら、文章に表れている物の見方や考え方について考えたりすることにつながるようにする。

単元全体の振り返り

- 最後に個で振り返る活動を設定し、学んだことやこれから生かしたいことをまとめることで、学習してきたことを整理できるようにする。

国語科学習指導案

令和元年6月 第3学年 指導者 真庭 孝

I 単元名 文章構成や論理の展開を評価しよう『新しい博物学の時代』

II 学習指導要領上の位置付け

(1) 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。

【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項ウ】

(2) 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

【思考力、判断力、表現力等 C 読むことウ】

(3) 言葉のもつ価値を認識し、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

III 目 標

筆者の文章構成や論理の展開について評価し、文章にまとめる活動を通して、次の事項が身に付けられるよう指導する。

(1) 説明的な文章の特徴について、文章構成や論理の展開の観点から理解を深めること。

(知識及び技能)

(2) 文章構成や論理の展開を評価すること。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 文章構成や論理の展開を今後の表現活動に生かし、思いや考えを伝え合おうとすること。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／5）

- ねらい 教材文を読み、文章構成や論理の展開の評価に必要なことを話し合う。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 単元の課題を把握する。（15分）</p> <p>○事前に配布しておいた既習の説明文の、文章構成や論理の展開について気付いたことを記述させる。</p> <p>○補助資料として天文学に関わる写真や映像を見せる。</p> <p>○教師による本教材の範読を聞かせ、二つの文章構成の違いに気付かせる。</p> <p>○文章構成や論理の展開についての感想を交流し、単元の課題を考えさせる。</p>			
単元の課題 筆者の文章構成や論理の展開について評価し文章にまとめよう。			
<p>2 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○めあてを提示し、本時は文章構成や論理の展開について評価し文章にまとめるために、学習計画を立てる時間であることを伝える。</p>			
めあて 筆者の文章構成や論理の展開を評価し文章にまとめるために必要なことを話し合い、学習の見通しをもとう。			
<p>3 学習の見通しをもつ。（25分）</p> <p>○自分たちが文章を書くときに使った文章構成や、説明文における主張と根拠の関係などの既習事項を想起させ、グループで課題解決までの見通しを考えさせる。</p> <p>○考えたことを学級全体で共有し、単元全体の学習のイメージをもたせる。</p>			
文章構成や論理の展開に対して、自分の考えをまとめることに意欲的な記述をしている。 ＜ノート(3)＞			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）</p> <p>○「新しい博物学の時代」でどのようなことを学習していくのか、また、どのようなことを学びたいかを、ノートにまとめさせる。</p> <p>☆論理の組み立て方についてはあまり意識したことがなかった。今回の学習でしっかり考えてみたい。</p> <p>☆表現方法について自分の考えを書いた経験を生かして、今回は構成や論理の展開について自分の考えを書いてみようと思う。</p>			

V 本時の展開 (2/5)

1 ねらい 意味段落の役割を考える活動を通して、文章構成や論理の展開について考えることができるようにする。

2 展開

学習活動 (分) ○ : 留意点 点線囲 : 評価 ☆ : 振り返りの子供の意識

1 本時のめあてをつかむ。(3分)

- 前時に学習した本文の内容を確認して、本時の見通しがもてるようにする。
- 筆者の文章構成の意図を捉えることが本時のめあてであることを伝える。

めあて それぞれの段落の役割や、筆者の意図を捉え、考えたことを話し合おう。

2 課題を個別に追究する。(17分)

- 序論、本論、結論の役割について確認させる。
- 本論を四つの意味段落に分けて小見出しを付け、付箋紙に書き込ませる。
- 付箋紙を並べ替えさせ、本論の文章構成について考える過程を視覚化できるようにする。
- 筆者の主張に対する根拠が、意味段落に書かれていることに目を向けさせる。

3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな気付きをもつ。(25分)

- グループで、本論の四つのまとまりの役割と順序の意図について話し合わせる。
- グループごとに考えを整理させ、ホワイトボードにまとめさせる。
- 交流した結果を共通点、捉え方が分かれた点、疑問点などに分けて発表させ、全体で共有させる。
- 共有したことを基に意味段落の役割と筆者の意図についてワークシートにまとめさせる。

意味段落の役割と筆者の意図についてワークシートに記述している。

<ワークシート(1)>

4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)

- 意味段落の役割や、筆者の意図などについて考えたことを中心に、本時の学習を通して学んだことや考えたことを記述させる。
- ☆筆者が意図をもって文章を構成していることが分かった。
- ☆一つ一つの段落が、重要な役割を担っていることが分かった。

V 本時の展開 (5/5)

- ねらい 単元全体を振り返る活動を通して、文章構成について考えながら読むことの意義を理解することができるようにする。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(3分) ○単元全体を振り返ることが本時のめあてであることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 単元を振り返って、文章構成の考え方について、学んだことや今後に生かすことをまとめよう。</div>			
2 単元で学んだことを確認する。(22分) ○1/5時に書いた文章と、4/5時での文章構成を評価した文章とを読み比べさせる。 ○読み比べて相違点を書き出させ、意味段落の役割や筆者の意図に目を向けて文章を読むことができたことを実感させる。 ○文章構成や論理の展開についての見方が深まったことを確認させる。			
3 学んだことを一般化して理解する。(15分) ○本単元で学んだことを、どのように生かせるか、意見を交流させ共有させる。 ○文章を読む際は、それぞれの段落の関係に着目したり、筆者の文章構成の意図を考えたりすることで、内容をより明確に捉えられるということに気付かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今後の学習や生活にどのように生かせるかについてまとめている。<記述(3)></div>			
4 単元全体の振り返りをする。(10分) ○一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを自分の言葉でノートにまとめさせる。 ☆文章構成には筆者の意図が表れていることが分かった。 ☆論理の展開を考えることによって、筆者の主張の根拠が妥当かどうかなどについても考えられるようにしていきたい。			

目標	筆者の文章構成や論理の展開について評価し、文章にまとめる活動を通して、次の事項が身に付けられるよう指導する。 (1) 説明的な文章の特徴について、文章構成や論理の展開の観点から理解を深めること。 (2) 文章構成や論理の展開を評価すること。 (3) 文章構成や論理の展開を今後の表現活動に生かし、思いや考えを伝え合おうとすること。 (知識及び技能) (思考力、判断力、表現力等) (学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1) 論理の展開を表す言葉や、本文のキーワードとなる言葉の文脈上の意味を捉えている。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(イ)】 (2) 文章における論理の構成や展開について自分の考えを書いている。 【C読むこと(1)】 (3) 文章構成や論理の展開についての自分の考えを交流し、今後の学習に生かせることを伝え合っている。 【国語への関心・意欲・態度】		
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り（意識） ◇評価項目 ＜方法（観点）＞
つかむ	1	○教材文を読み、文章構成や論理の展開の評価に必要なことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元の課題 筆者の文章構成や論理の展開について評価し文章にまとめよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者の文章構成や論理の展開を評価し文章にまとめるために必要なことを話し合い、学習の見通しをもとう。</div>	☆論理の組み立て方についてはあまり意識したことがなかった。今回の学習でしっかり考えてみたい。 ☆表現方法について考えを書いた経験を生かして、今回は構成や論理の展開について自分の考えを書いてみようと思う。
追究する	1	○意味段落の役割を考える活動を通して、文章構成や論理の展開について考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">それぞれの段落の役割や、筆者の意図を捉え、考えたことを話し合おう。</div>	☆筆者が意図をもって文章を構成していることが分かった。 ☆一つ一つの段落が、重要な役割を担っていることが分かった。
まとめ	1	○本文の文章構成や論理の展開について自分の考えをまとめる活動を通して、筆者の文章構成や論理の展開について評価することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者の文章構成や論理の展開について評価し、文章にまとめよう。</div>	☆筆者の論理の展開の工夫について自分なりに考えをまとめることができた。 ☆筆者が序論で読み取るべきことを明確に示し、根拠の順序も工夫していることが分かった。
	1	○文章構成や論理の展開について考えをまとめた文章を読み合う活動を通して、自分の考えを深めることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">前時に書いた文章を読み合い、考えたことを交流しよう。</div>	☆他の人の書いた文章を読むことで、考えを深めることができた。 ☆同じ考えを、より上手にまとめている友達がいたので参考にしたい。
	1	○単元全体を振り返る活動を通して、文章構成について考えながら読むことの意義を理解することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元を振り返って、文章構成の考え方について、学んだことや今後生かすことをまとめよう。</div>	☆文章構成には筆者の意図が表れていることが分かった。 ☆論理の展開を考えることによって、筆者の主張の根拠が妥当かどうかなどについても考えられるようにしていきたい。